

2025.6 北海道世界ジオパーク紀行

1. はじめに

「アース・ミュージアム元宇品自然観察会」での活動も今年で14年目を迎えている。この間、自分の知識・経験を少しでも活かすことが出来る地形・地質を担当してきたが、ゲストの皆さんに分かり易く、興味を持ってもらえるような説明することの難しさを常に感じながら、微力ではあるが自己研鑽にも取り組んできた。この過程で知ったのが、北海道の「アポイ岳世界ジオパーク」である。ユーラシアと北米プレートが衝突したことによってマントルが地下深くから隆起し、アポイ岳と幌満峡周辺は、新鮮なカンラン岩で形成された世界でも希少な地域となっている事を知り、どうしても現地へ行きたいと言う思いが強くなり、まだ北海道は冬の真っ只中にある3月に急遽計画を立てることとなった。

北海道は、過去2回ほどいったことがあるが、いずれも札幌、旭川、小樽そして道央の美瑛町・富良野止まりであり、道東、道南は土地勘が全くなく、一から行程を組み立てることとなった。グーグルマップで襟裳岬に近いアポイ岳を中心に道東・道南地域を見たとき、やはり「釧路湿原国立公園」と新千歳空港に近い「洞爺湖有珠山世界ジオパーク」が目にとまり、訪問箇所を釧路湿原、アポイ岳、洞爺湖有珠山の3カ所に絞り旅の目的を下記の通りとして行程を組み立てることとなった。

○旅の目的

- ①カンラン岩（マントル）で出来たアポイ岳・幌満峡を体感する。
- ②昭和新山の大きさを体感する。
- ③釧路湿原の広さを体感する。

上記の目的を達成するために、旅行時期は北海道が初夏を迎え気候が安定し、高山植物等が咲く頃である6月とした。次に旅行期間は、飛行機で広島・新千歳の往復と道内はレンタカーで移動することを前提とし、特にアポイ岳登山と釧路湿原探索を重点に置き、主にインターネットから情報を集め、必要に応じて現地へ直接電話して情報を聞き、試行錯誤を繰り返しながら立案した行程を下記に示す。

○全日程 6月1日（日）～6月6日（金）（5泊6日） 総移動距離：約900km

○計画行程

・6月1日（日）（釧路市泊）

広島空港 8:15⇒千歳空港 10:15（ANA1271便）

千歳市（レンタカー）⇒釧路市（260km）11:30～16:00 道東自動車道

・野生生物保護センター（16:30閉館） ・釧路市湿原展望台（18:00閉館）

まず、釧路市湿原展望台で明日からの行程を確認し釧路市内ホテルへ

・6月2日（月）（釧路市泊）

釧路湿原探訪

- ・西側地域：野生生物保護センター、温根内ビジターセンター、温根内木道鶴見台など
- ・東側地域：コッタロ湿原展望台、塘路湖エコミュージアムセンターなど

・6月3日（火）（様似町泊）

AM 2日に行けなかった必見ポイントを選定し訪問（半日で可能な範囲）

PM 釧路市⇒様似町（220km）13:00～18:00 襟裳岬経由（国道38号、国道336号他）

午後から様似町へ移動、途中襟裳岬へ立ち寄る。

・6月4日（水）（様似町泊）

アポイ岳ジオパーク探訪（アポイ岳登山他） （様似町泊）旅館 関白

- ・アポイ岳気温：10℃（8～12）ウインドブレーカーなど暖かい服装と歩きやすい靴、雨具
- ・登山時間：標高差 750m、2.5～3 時間（登りやすい登山道）
- ・登山計画（昼食持参）：9 時ビジターセンター着（開館 9～17 時）、9 時半頃登山開始、下山 4 時半（トイレは登山口、5 合目に携帯トイレ用の簡易ブースがある。携帯トイレは事前に購入）

・6月5日（木）（洞爺湖温泉町泊）

AM 様似観光案内所、様似町海岸線エリア、幌満峡エリア探索

PM 様似町⇒洞爺湖町（250km）13：00～18：00 国道 235 号 道南高速道路など

洞爺湖有珠山ジオパークセンター （洞爺湖町泊）洞爺湖畔亭

・6月6日（金）

8：00～17：00 洞爺湖有珠山ジオパーク探訪他

有珠山パノラマコース散策：昭和新山パークセンター、有珠山ロープウェイ

洞爺湖発 14：00⇒（国道 453 号・支笏湖経由 100km）⇒17：00 着（レンタカーショップ）

17：30 新千歳空港着

新千歳空港 18：40⇒20：55 広島空港（ANA1272 便）

2. 旅のあらまし

【6月1日】

妻と二人の飛行機を利用した本格的な旅行は久しぶりで少し緊張して家を出たが、当日は全国的に天候が良く、新千歳への空の旅も順調に経過し、ほぼ定刻通り北海道に降り立った。空港から外に出ると青空が広がり爽やかな天候で上々の旅日和となった。6 日間の滞在中の天気予報はまあまあ良好となっているが、アポイ岳に登山予定の 4 日に雨の予報となっているのが気にかかっている。レンタカーショップまでのマイクロバスに乗るのにちょっと手間取ったが、ほぼ予定どおりにレンタカーショップを出発した。車種はトヨタのヤリスクロスで座高が高く運転しやすそう。追分町 IC から道東自動車道に乗り一路釧路を目指す。北海道の道を走り出してまず感じるのが直線区間が多いことだ。一般道では知らぬ間にスピードが上がってしまう。スピードを抑えることに苦労してしまう。しかし、広島と違ってかなりストレスなくドライブを楽しむことが出来る。途中、占冠 PA に立ち寄り、地元産の焼きとうもろこし、唐揚げなどで昼食をとった。高速道は車も少なく快適なドライブが続き、道東自動車道を釧路西 IC で降り 16 時半頃釧路市湿原展望台に到着した。釧路市湿原展望台駐車場に着き車から降りた時、かなり気温が下がっているのが感じられ車の外温度計を見ると 13℃、千歳より 10℃近く気温が下がっている。ジャケットを着て展望台内部に入るとそこには 2・3F に湿原の説明展示室があり、屋上が展望台となっている。時間も夕刻となってきたためまず展望台に登り周囲を見渡すと、そこには果てしなく続く平地が広がり、広島の風景とは全く違う世界を見てかなりの感動を覚えた。（写真 1. 2）釧路湿原の形成は北海道の成り立ちと深く関係しており、その面積は周辺の丘陵地も含め 289 km²に及ぶ。一応の知識と実感を得て 17 時半頃から遊歩道を歩く。（写真 3）この時期の日の入り時刻は 19 時頃であるが、18 時近くなり日も傾きかなり気温が下がってきたが、ハンノキ林の中をゆっくり歩き湿原の序章を満喫することが出来た。釧路市内のホテルに到着したのは 19 時頃になった。夕食のために近くの居酒屋へ出かけたが、その頃には息が白く見え、手がかじかむような寒さとなり、熱燗と焼き魚など温かいもので腹を満たした。